

令和3年度 熊本県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技

実 施 要 項 (改訂版 案)

- 1 大会名 令和3年度熊本県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技
兼 第72回全九州高等学校ラグビーフットボール大会熊本県予選大会
- 2 主催 熊本県高等学校体育連盟 熊本県教育委員会
- 3 後援 熊本県ラグビーフットボール協会
- 4 主管 熊本県高等学校体育連盟ラグビーフットボール専門部
- 5 期 日 令和3年5月22日・28日・30日・6月1日
(土) (金) (日) (火)
- 6 会場 熊本県民総合運動公園ラグビー場、同スポーツ広場
- 7 競技規則 令和3年度 日本ラグビーフットボール協会競技規則による。
- 8 競技方法 **※この大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために全試合、無観客で行う。**
 - (1) 試合はトーナメント方式による。
 - (2) 規定の競技時間内で勝敗が決しない場合は、トライ数、ペナルティトライ数、ゴール数によって、またそれでも決しない場合は抽選によって次の試合の出場権を決定する。
- 9 競技時間 試合時間は30分ハーフとする。
- 10 参加資格
 - (1) 本連盟加盟校の生徒で、当該競技要項により参加の資格を得た者。
 - (2) チーム編成は、部長・監督各1人、選手30人計32人以内とし、全日制・定時制課程の生徒の混成は認めない。
 - (3) 年齢は、平成14年4月2日以降生まれたもので、19歳未満の者とする。但し出場回数は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - (4) 複数校合同チームによる大会参加
 - ア 再編・統合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
 - イ 少子化に伴う部員不足による複数混合チームの大会参加は、別途に定める複数校合同チームの大会参加規定に従う。
 - (5) 転校後6カ月未満の者の参加は認めない。但し、一家転住等のやむを得ない事由による場合は、ラグビー専門委員会で調査し、県高体連会長の承認があればこの限りでない。(外国人留学生もこれに準ずる)
 - (6) 外国人留学生の参加については、2人までとする。ただし、他の大会のメンバーは代わってもよい。
 - (7) 参加選手は、健康診断の結果異常の無いもので、学校長の参加申し込みを必要とする。
 - (8) その他の事項については、全国高等学校体育連盟規定、九州高等学校体育連盟規定の参加資格に準ずる。
 - (9) 参加資格の特例による学校の参加については、熊本県高等学校体育大会開催基準要項のとおりとする。
- 11 表彰 第3位まで表彰する。(3位決定戦を実施する)
- 12 組合せ 高体連ラグビー専門委員会で決定する。
- 13 申込期日 令和3年5月10日(月)まで必着のこと。
- 14 申込先 〒860-0067 熊本市西区城山大塘5丁目5-15
熊本県立熊本西高等学校 門脇永記 宛
申込書は校長印押印の原本を郵送、メールでも送信すること。

- 15 参加料 (1)加盟校1人500円、非加盟校1,000円
(2)納入方法
ア 参加申込と同時に最寄りの郵便局の払込用紙を用いて下記口座に
払い込むこと
イ 払込先 ゆうちょ銀行 店名 七一八(読み ナナイチハチ)
店番 718 普通預金番号3941994
熊本県高等学校体育連盟ラグビー専門部
- 16 健康管理
(1)令和3年度熊本県高等学校各競技大会に係る感染拡大防止ガイドラインを参照。
なお、**新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全試合無観客(ただし、決められた報道関係者は可)**で行う。
(2)大会に参加する生徒は参加同意書(別紙1-1)を学校に提出する。
ア 同意書 各学校の顧問は大会に参加(補助員を含む)する生徒へ配付し、取まとめる。同意書は、大会終了後1ヶ月間各学校で保管する。
イ 証明書 各学校は、同意書提出に伴い、専門部に証明書を提出する。
(3)検温確認表について
顧問・選手(補助員含む)用(別紙2)は、当日の朝、各自で検温を含めた健康観察を行い記入し、顧問が大会会場にて学校毎提出する。
(4)参加者が以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせること。
ア 体調がよくない場合
イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる場合
ウ 過去14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
(5)会場では、ウォーミングアップ、試合以外ではマスクを着用すること。また、給水ボトルは共有しない(個人用ペットボトル等可)。
(6)こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
(7)他の参加者との距離をできるだけ2m以上確保すること。
(8)応援する際はマスクを着用し、感染拡大防止に配慮すること。
(9)発熱が軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は指導者の責任のもと出場を見合わせること。
(10)大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者に報告すること。
(11)大会期間中にチーム内(選手・顧問・スタッフ)から感染者が出た場合はそのチームは大会を棄権する。
(12)チーム内に保健所の判断による濃厚接触者が出た場合は、大会実行委員で会議を開き、対応策を講じる(日程的に試合実施に無理があると判断した場合、当該チームは棄権する)。
(13)新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、試合のベンチに入れる人数を以下のように制限する。各チーム公式戦登録メンバーの人数(最大30人:合同チームも同様とする。)+チームスタッフ(部長・監督・コーチ・トレーナー・チームドクター等)、マネージャー、チーム補助員等を含め最大10人とする(ただし、できる限り少人数が望ましい)。
※上記、ベンチ入り人数制限は、令和2年度全国高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技大会の際に全国高体連ラグビー専門部ならびに大会実行委員会承認し、実施された制限内容である。
(14)無観客の試合であるため、ビデオ撮影等が必要な場合はベンチ外で撮影する補助員を2人まで許可する。
- 17 その他 出場チームは、必ず引率責任者(当該校責任者)が引率し、引率責任者は、選手の行動に対し全ての責任を負うものとする。